

広島とベトナム

第41号

2026年1月発行

特定非営利活動法人

広島ベトナム協会 (HVA)



〒733-0002 広島市西区楠木町4丁目8番12号 (株) 不二ビルサービス内

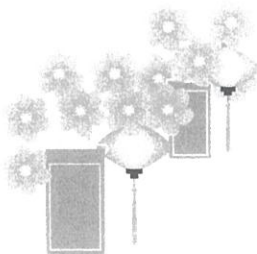
TEL (082) 962-8923 FAX (082) 962-8924

E-mail: hirovna@fujibiru.co.jp HP: https://hiro-viet.jp/

銀行口座: 広島銀行八丁堀支店・普通020-1221248 口座名: 特定非営利活動法人広島ベトナム協会

郵便口座: 01360-1-72782 口座名: 特定非営利活動法人広島ベトナム協会

年頭のごあいさつ



ヒロシマ・ベトナムの
平和文化の醸成・
交流をめざして!



謹賀新年 chúc mừng năm mới!

新しい年を迎え、皆様のご健康と平安をお祈り申し上げます。

特定非営利活動法人 広島ベトナム協会

理事長 上久保 昭二

会員の皆様、関係者の皆様には、日頃より多大なご支援とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

今年のベトナムのお正月はいつもより遅く、それに合わせて当協会の恒例行事『テトを祝う会』も2月15日(日)に開催を予定しています。どうぞお気軽にご参加くださり、一緒に新しい年を祝い、交流を深められたら幸いです。

巨大地震の前触れに慄き、山林の“熊”や自然との共存の在り方が問われる昨今ですが、「戦争」という身勝手な人間の欲による尊い命の奪い合いと破壊行為は後を絶ちません。美しい地球やかけがいのない生命は存続し続けることができるのでしょうか。希望の光が見えてくるのでしょうか。

さて、当協会は2年後に創立25周年を迎えます。創立以前から森元國行名誉会長、林辰也名誉理事(NPO法人化の初代理事長)をはじめ、ベトナムへの愛着と熱い思いを抱いた有志の方々の努力の結晶が実を結び誕生、長年にわたり支援と交流が絶え間なく続いてまいりました。創立25周年を機に、時代の変化と共に、大きく変わる社会や世界の情勢を鑑みながら、新たな協会の役割と在り方を見出していきたいと考えています。

変えてはならない活動の理念と、変えるべきことを見定めて、新しい取り組みも含めて「広島の在住留学生への支援・協力」、「在住ベトナム人との交流」、「現地ホーチミン市を中心とする地域支援・協力」を軸に、ベトナムと日本を繋ぐ懸け橋の役割を果たしていきたいと存じます。

去年は、広島は「被爆80周年」、ベトナムは「南部解放・南北統一50周年」、「建国80周年」という歴史的節目の1年でした。今年は、1961年にベトナムで枯葉剤が散布されて65年目となります。核兵器・化学兵器の廃絶と恒久平和を希求するヒロシマとベトナムの強固な意志を確認しながら、目に見える形での具体的な活動へと踏み込んでいきたいと存じます。

どうか一人でも多くベトナムファンが増えてベトナムへの関心が広がり、一方で多くのベトナム人が日本についての理解を深めることにより、お互いの国の文化、特に平和文化の醸成と交流が深められ、友好関係が強まることを切望しています。

「留学生会」の活動もよちよち歩きではありますが一步一步前に進んでいます。温かく見守ってください、またお支えくださいますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくご支援、ご協力をお願い申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

◆ベトナム支援・協力活動の新たな展開へ向けて◆

顔の見える支援と双方向の交流をめざす

ベトナム・ホーチミン市 公式訪問記

2025年12月3日～6日（3泊4日）



理事長 上久保昭二



理事長を拝命して4年が経ちましたが、ベトナム訪問の機会を逸していました。最近のベトナムの実情を肌で感じることに、現地越日友好協会、支援先の3団体への表敬と視察のために、ぜひ訪問したいという以前からの思いが実り、今回その機会を得ることができました。加えて、2025年7月にベトナムの高校生の「平和使節団」に同行され広島に来られたホーチミン市の戦争証跡博物館のスタッフの皆さんにもお会いできたらと思っていましたので、同博物館も訪ねることができ、弾丸訪問となりましたが幸運でした。

現地受け入れは、越日友好協会のNguyet（グエット）副会長（兼事務局長）を中心にアレンジをいただき、不二ビルサービスベトナムのLoi（ロイ）社長と当協会の元奨学生で現地に活躍中のTuan（トゥアン）氏にアテンドと通訳をお願いし、また短時間ではありましたが7月に上記使節団の通訳で来られた大学講師のAnn Thu（アン・トゥー）先生にもサポートをお願いし、大変お世話になりましたことをまずもってお礼申し上げます。2日間スマホアプリから手配できるGrab Carをフルに活用して、有意義にまた有効に過ごすことができました。心より感謝しています。

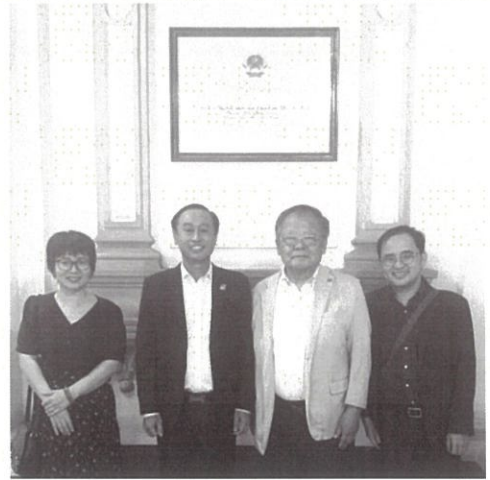
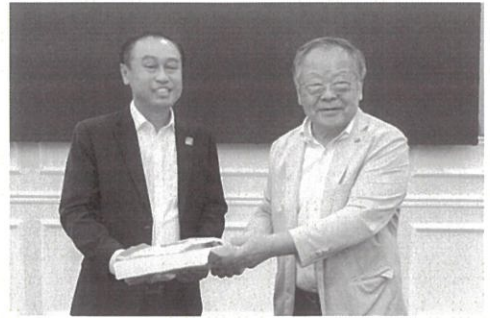
さて、12月3日の寒い朝、広島空港を立ち、台北経由で夕方にはホーチミン市に入りました。ラッシュアワーでもあり、自動車とバイクの渋滞は相変わらずで、中心街のホテルまで1時間程度かかりました。最高気温33℃と聞いていましたが、意外と涼しい感じでした。どうやら台風が接近していたせいで、気温は下がり、時折小雨もぱらついていましたね。そんな中、夕食はグエットさんと合流し、3人で近くのベトナム料理店で無難な（笑）メニューを選びご馳走になり、訪問スケジュールの確認と越日友好協会の活動について歓談しました。

以下、訪問地での意見交換の概要をご紹介します。

1. ホーチミン市ベトナム・日本友好協会(連合会)

まず、人民委員会会館に現在はタイン氏の後任として友好協会(連合会)の会長を務めているHuynh Thanh Nhan(フィン・タイン・ニャン)氏(ホーチミン市人民評議会副議長)を訪ねお話を伺う機会を得ました。ホーチミン市は観光による税収の割合が高いそうです。日系の旅行会社のお話では、日本全国からの高校生ツアーリスト(修学旅行)が昨年6000人にのぼり、日越友好協会も受入のお世話をしています。この点は、改めて詳細を聞かせてもらおうと、当協会も参考になるのではないかと思います。昨年夏の使節団のような形の交流も視野に入れて、広島とベトナムの高校生や大学生など若者との交流の可能性について検討できたらと思った次第です。

なお、2024年にはホーチミン市で剣道・柔道・相撲などの「武道の祭典」が開かれ人気を博したそうです。他にサッカー、野球も含めたスポーツの交流や音楽の交流も可能性があるのではないかと提言いただきました。



2. 戦争証跡博物館

生々しい戦争の傷跡、ベトナム戦争におけるダイオキシン(枯葉剤の散布)の悲劇の様子が伝わってきます。多いときは1日4000人から5000人もの入場者だそうです。報道写真家の中村梧郎氏の写真コーナーにも貴重な写真が展示してありました。この非人道性が今もベトナムでもアメリカでも静かに続いていると認識しなければならないと強く思いました。今こそ戦争や平和への関心と危機感が高まる中、世界各地からの見学者が増えているようです。

広島平和記念資料館もいろいろな面で共通するところがあると思います。2025年夏にAnh(アン)副館長と職員の方が同資料館を見学、石田芳文資料館館長を表敬訪問し、懇談会が行なわれました。

9月の『平和の月』、9月21日の国連が定める『国際平和デー』にちなんで、『国際平和展示会』を実施したく、そのパートナーを探しているとのことでしたので、広島平和文化センター並びに同資料館への提案を持ち帰り、近々報告に伺う予定です。



3. ホーチミン市枯葉剤被害者協会 (VAVA)

悲しいことに、被害者は世代をまたぎ4世代目を迎えています。被害者自らが社会復帰や日常生活の自立に向けてトレーニングをし、被害者自らが世界へ向けて発信できる時代に入っています。時代も障がい者の様子も変化している中で、VAVAとしては今後どのような支援をすべきか過渡期を迎えているそうです。2026年は創立65周年、広島ベトナム協会と一緒に何ができるか協議したいと強く望んでおられました。

Nguyen Hong Son (グエン・ホン・ソン) 会長は元軍医で、Huynh Hgoc Van (フエン・ゴク・ヴァン) 副会長は元戦争証跡博物館の館長で現在はアオザイ博物館(ベトナムで唯一)の館長をされています。これからは若い人たちが過去の戦争を理解し、平和のためにアクションを起こしていく担い手になることを願うばかりと。そのためにも私たちの団体が連携できたらと、お二人とも熱い思いを語られました。

具体的な提案として伺ったのは、手足とも不自由(四肢損傷)な被害者の描いた絵を展示・販売するキャンペーンを計画したり、目の不自由な人の演奏会を実施する、あるいは大学で学びたい若者被害者への奨学金を提供する、等。「実態を理解していただき、企画や要望については十分に理解した上で検討をしていただきたいので、改めて資料や写真を添えて要望・提案書を作成してお送りしたい。」とのことでしたので、承諾しました。



4. タンタオA小学校

僭越ながら、「継続は力なり」と支援を長年続けていることにも意味があると挨拶で述べました。2000人を抱えるマンモス小学校(1年~5年)で、学区的には生活水準は低く、貧困地区と思われます。近くには台湾系の履物製造工場の会社があり、従業員は10万人に及ぶといえます。

子ども達は万国共通で、明るく元気に授業を受けていまして、授業中にもかかわらず教室に入らせてもらいましたら、歌まで歌って歓迎してくれました。英語の授業でした。ちなみに、今後は政府の方針で「日本語」教育も導入するような話も耳にしました。

考えられる支援の例としては、寄付金(奨学金)の継続または増額、教員の短期研修受け入れ(6月)、中区基町小学校(2025年の夏に児童の描いた絵を平和を願ってタンタオA小学校に贈った小学校)との交流サポート(絵画交換展示会とか短期体験学習で派遣や受入のお世話を協会がする等)、絵本や本の贈呈、一輪車やスポーツ用具の贈呈、サッカーグラウンドの緑地化等が浮かびました。組織力、人材力、財政力、行動力等でできることとできないことはあると思うのですが、現地・現場を目の当たりにし、先方とのコミュニケーションを通じて様々なアイデアや可能性が浮かんでくるものです。まさに、「百聞は一見にしかず」です。



5. The Little Rose Shelter (小さなバラの家)

長年代表を務めておられるNguyenKimThien(ブエン・キム・トゥエン)さんと面会し、寄付金の贈呈と記念写真撮影後、情報交換をしました。現在は11名(8歳から18歳)が生活していて、自立できるように生活と教育の面倒をみているとのことでした。老朽化した施設は2025年にCMA、CGM財団のサポートにより、リノベーションが果たされ、きれいな教室がいくつかできていて、よい環境での教育が実現できていると喜んでおられました。



～ ま と め ～

2日間Grab Carを12回利用して円滑にかつ快適に移動でき、しかも安価ですみました。現地アテンドの皆さんのおかげです。各団体への表敬訪問とご挨拶および“顔の見える支援と双方向の交流”のきっかけができましたし、これまで当協会に関わりのあった方々との再会、新たなつながりもできたことは大きな成果です。

3団体への寄付金(奨学金)贈呈の継続は前提に考え、今回訪問した各団体の要望・期待に対しての今後の取り組みについては、以下の点が新たな課題であると思います。

1. 当協会が希望する越日友好協会への連携について～「青少年交流ツアー」(仮称)の企画協力と現地への協力要請
2. VAVAについて～「平和と命」をテーマとした協働の具体化 “今も続く枯葉剤被害への取り組み”
3. 博物館について～広島平和記念資料館への報告と提案
4. タンタオA小学校について～踏み込んだ交流・支援計画および広島市中区基町小学校への報告と提案

貴重な4日間、正味2日間の5団体への公式訪問により、私なりに全貌が見えてきて、訪問の目的が達成できたと思います。“百聞は一見にしかず”、“顔の見える支援と交流”の実践の必要性、これが今回の収穫であり今後の指針です。

当協会として、変えてはならないことと変えるべきことを見定めながら、できるところから取り組んでいく覚悟にもつながりました。2027年の創立25周年を機に当協会の新たなステージを見出せたらと思います。

長い拙文にもかかわらず、最後まで読んでいただきありがとうございました。

お世話になったアテンド4名の方々



Phan Thi Minh Nguyet
(ファン・ティ・ミン・グエット) さん



Nguyen Minh Tuan
(グエン・ミン・トゥアン) さん



Nguyen Van Loi
(グエン・ヴァン・ロイ) さん



Luong Thi Ann Thu
(ルン・ティ・アン・トゥー) さん

2025年4月～12月の活動日誌

6月19日 広島ベトナム協会会員定例総会・懇親会

リーガロイヤルホテル広島にて会員定例総会及び懇親会を開催しました。定例総会は42名の法人・個人正会員の出席と賛助会員出席を得て、議案すべてご承認いただきました。

引き続いて行われた懇親会には、総勢85名の参加をいただき、ベトナム人留学生や実習生の参加も得て、多くのベトナム人と会員の皆様との交流の場を持つことができました。

アトラクションでは、留学生によるベトナムの伝統武術や歌、民族衣装での踊りなどもあり、和やかなうちに終えることができました。

7月15日～17日 ベトナムの高校生を中心とする「平和使節団」広島訪問

2025年は広島・長崎は被爆80周年であるとともに、ベトナムも南部開放・南北統一50周年、ベトナム建国（独立）80周年であり、両国にとっても大きな節目の年です。この度、当協会とも深い関係のあるホーチミン市越日友好協会が、高校生を中心とする「平和使節団」を企画し、長崎を経て広島を訪問しました。引率の教師、ホーチミン市の戦争証跡博物館の副館長やスタッフも加わり、総勢36名の使節団が訪れました。

高校生たちは慰霊碑を参拝した後、佐々木禎子さんを悼み、ベトナムで折ってきた千羽鶴を「原爆の子の像」に供え、祈りを捧げました。その後資料館を見学し、被団協の理事である大中伸一さんの被爆二世としての講義を聴く機会を持ちました。ベトナムと日本との違いはありますが、多くの犠牲の中で今の我々があること、今後の平和を若者が創り上げていくことを学ぶ貴重な機会となりました。その後高校生は崇徳高校を訪問し、お互いペアになって英語でおしゃべりをし、ゲームなどで楽しく交流しました。また、高校生たちが崇徳高校で交流を図っている間に、ホーチミン市の戦争証跡博物館 Anh（アン）副館長とスタッフは広島平和記念資料館の石田芳文館長の表敬訪問が実現し、お互いの目的や世界平和にむけて、博物館と資料館が情報を共有しながら今後の展開についての可能性を考えていくことを確認しました。今後の若者たちの交流に大きな可能性を感じることできた訪問であったと感じています。

9月28日 ベトナム料理教室を開催しました

広島市留学生会館の調理室とホールを利用して、全15名で楽しいひとときを過ごすことができました。今回の料理はハノイのブン・チャー（コメを原料とする細麺に、ニョクナムベースの酸味のあるたれをつけて食べるつけ麺）とゴイ・クオン（ベトナム正統生春巻き）、デザートでジャックフルーツヨーグルトを作りました。

講師の説明を聞きながら、参加者は真剣にまた楽しく取り組み、味も見た目も個性豊かに出来上がりました。その後ホールに移動してみんなで試食。「美味しい～!」という声があちらこちらから聞こえました。

試食後には講師からパワーポイントで自己紹介を含め、ベトナムの文化紹介や日本との違い、自ら驚いたことや経験を楽しく語っていただきました。参加者からも「また参加したい!」との声を多くいただきました。

10月18日 第2回広島大学ベトナム人の日本語作文コンクール表彰式出席

昨年に引き続き、標記コンクールが開催され、ベトナムの多くの大学生から昨年度を大きくしのぐ参加がありました。表彰式がハノイ市のハノイ国家大学外国語大学で行われました。広島ベトナム協会も昨年度に続き、スポンサーを務め、表彰式には中嶋博志専務理事が出席しました。

昨年度より進行も、内容もよりパワーアップされているとのことでした。

11月16日 国際フェスタ2025「世界の屋台」に参加しました

今年はブンボーフェ、チキンのフォー、揚げ春巻き、ココナッツコーヒーを提供しました。秋晴れの快晴の中、多くの人々にご来場いただき、すべて完売することができました。料理はベトナム料理店「Hello Viet Nam」の協力のもと、留学生はココナッツコーヒーの材料の買い出し、当日の手作り提供、屋台の飾りつけ、お客様への元気な声かけ等頑張ってくれました。

気軽にお声をかけていただき、応援してくださり、ベトナムの食文化に興味を持っていただけた皆様に深く感謝申し上げます。

11月26日 広島県海外日本語講師養成研修 ベトナム人教師視察を受け入れました

広島県の委託を受け、毎年10月～12月(約8週間)公益財団法人ひろしま国際センターが行っている、表記養成研修のベトナムの大学所属の日本語教師の視察を受け入れました。3名のベトナムの大学の教師とひろしま国際センター職員2名の5名の方の訪問でした。当会からは上久保昭二理事長、中嶋博志専務理事、事務局長桜田雅文、ベトナム人留学生チャン・ティ・ヴィの4名で対応しました。

理事長の挨拶の後、当協会の概要説明、広島県のベトナム人事情、実習生の現状や㈱不二ビルサービスの取り組み、協会の会員状況、活動について報告し、ヴィさんからはベトナムから日本への留学、大学入試までの状況を伝えました。国際フェスタでも提供したヴィさん手作りの「ココナッツコーヒー」も提供し、質疑応答も含め和やかに進み、終わることができました。

12月3日～12月6日 理事長ホーチミン市支援施設等訪問

詳細は2～5ページをご覧ください。

その他の講習会	ベトナム語初級講習会(前期)	6月21日～8月9日(全8回)
	ベトナム語初級講習会(後期)	10月11日～12月13日(全8回)

大学卒業を前にして



THAN THI VY(チャン・ティ・ヴィ)

大学卒業を迎えるにあたり、この4年間を振り返ると本当にたくさんの学びと出会いに恵まれた時間と感じます。大学の授業で知識を身に付けるだけでなく、様々な人との交流を通して、自分の考え方や視野を広げることができました。

入学したばかりの頃は、勉強の進め方や成績を維持できるかどうか不安でいっぱいでした。それでも一つひとつの専門的な言葉を調べ、授業に真剣に取り組むことで、気が付けば4年間があっという間に過ぎていました。最後までやりきることができ、ここまで頑張ってきた自分を少し誇らしく思います。

また、毎年いただいた授業料免除や奨学金のおかげで、アルバイトの時間を減らし、学業や自分自身の成長に集中することができました。そのおかげで大学の活動だけでなく、地域の活動にも参加でき、多くの人と出会い、さまざまなことを学ぶ機会を得ることができました。大学生活の中で広島ベトナム協会のスタッフを経験し、留学生の皆と交流する機会にも恵まれました。イベントの準備や販売ブースの運営を一緒に行う中ではミスをして困ったこともたくさんありましたが、それも含めて大切な経験となり、人生の思い出として心に残っています。仲間と協力することの楽しさと大切さを実感できたことは、私にとって何よりの学びでした。さらに、広島ベトナム協会での仕事では単に手伝うだけでなく、自分の意見や考えを聞いてもくださって、尊重されていると感じています。そのことは私にとって大きな励みとなり、人と関わる中で自分を表現する勇氣にもつながりました。そして、熱心に勉強や地域活動に取り組む先輩方との出会いも大きな刺激となり、学びを深めるきっかけとなりました。

卒業後は広島県内の企業に就職することが決まりました。この会社はベトナムとの事業も展開しており、私にとって大きなご縁を感じています。これまでの学びや経験を活かし、さらに成長を重ね、両国の架け橋として役立てるように、努力していきたいです。

4年間を通じて、家族からの温かい応援の言葉、そして日本で生まれ育ったわけではない私を受け入れ、支えてくださった広島ベトナム協会の方々をはじめ広島の人々の存在が、何よりも大きな力となりました。心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

☆ 2026年ベトナムの旧正月テトを祝う会のご案内

ベトナムでは新年を祝う大きな祝日です。広島市でベトナムの方、日本人も一緒に家族を含めて、肩の凝らない楽しいひとときを過ごしましょう。ご参加お待ちしております。

※お申し込みはHPの申し込み書、広島ベトナム協会に電話もしくはメールにお願いいたします。

日時 | 2026年2月15日(日) 11:00～15:00

場所 | 広島市留学生会館2F ホール
(広島市南区西荒神町1-1)

会費 | 一般(日本人): 2,000円 ベトナム人: 1,000円
お子様: 無料(小学生以下)

事務局から

毎年夏の暑さの長さ、秋がほんの一瞬で、冬がやってくるそのような季節となってきました。四季の風情が楽しめなくなってきたのが寂しいですね。今年度も残すところ3ヵ月となりました。新年も皆様にとって素晴らしい1年でありますようお祈りいたします。

特定非営利活動法人 広島ベトナム協会

〒733-0002 広島市西区楠木町4丁目8番12号 (株)不二ビルサービス内

TEL:082-962-8923 FAX:082-962-8924

E-mail:hirovna@fujibiru.co.jp HP:https://hiro-viet.jp/